



愛知県におけるバッテリー関連の取組（案） ～2024年度事業内容と今後の取組～

2024年6月4日

愛知県経済産業局

知の拠点あいち
Knowledge Hub Aichi

知の拠点あいち（豊田市）

愛知での取組の考察と構え

Q：他の地域にない愛知県の強みはなにか。

- A：
- あいちシンクロトロン光センター ⇒ 材料の分析・評価、産業界用として国内で希少
 - 透過型電子顕微鏡(T E M)@J F C C ⇒ 材料の分析・評価、最高レベルの解析技術
 - 産業技術総合研究所中部センター ⇒ 材料系研究、評価分析機能の集積
 - 名古屋大学・名古屋工業大学等 ⇒ 電池材料に関連する頭脳が集積
 - 電池開発や材料開発関連企業の存在 ⇒ トヨタ、日本ガイシ、日本特殊陶業など
 - 内燃から電池の将来発展可能性 ⇒ 電池関連分野に興味を抱く自動車関連企業

- ✓ 材料分析・評価に関して設備・人材・ノウハウ有り。
- ✓ 電池材料(セラミック等)の研究開発の頭脳が集積。
- ✓ 電池関連分野に興味を抱くものづくり企業の集積。

この特性を生かし、他地域とはひと味違う特色ある取組をすべき

事業スキーム（たたき台）

あいち次世代バッテリー推進ネットワーク（仮称）※任意団体【2024年度内に設立（予定）】

- 目的：次世代バッテリーの研究、人材育成、集積化を進め、本県における電池産業振興を図る。
- 事業：① 次世代バッテリーの研究、人材育成に係る地域の取組の情報共有と発信
② 会員による個別事業の連携や共同事業等の支援 ③ 集積化に資する活動、コーディネート等

会長（愛知県知事）

アドバイザーボード（研究会）

会員（企業、大学、研究機関、行政）

募集・連携

参加・連携

知の拠点あいち 次世代バッテリー クリエイティブベース@豊田市（一部県内）【2025年度から順次実施】

人材育成

- 共同講座マッチング支援
→ CDによるニーズ掘り起こし
- 企業のエンジニアの大学等でのリスキング支援
→ 大学等派遣制度の働きかけ、ベストプラクティスの見える化
- バッテリーアカデミー実施
→ 県内高校生向け授業・実習
- バッテリー競技会/コンテスト実施
→ 県内・県外高校生対象
- 乾電池教室、電池フェスタ
→ 小中学生対象（電池工業会（BAJ）と連携）
- 電池討論会2025@愛知と連携
→ 電気化学会と連携（出展等）
- 全国イベント開催（支援）
→ （例）xEVテストイニシアティブ

電池産業推進コーディネート（CD）機能

- 上記ネットワークの運営、県事業の紹介・参加働きかけ
- 企業と大学の共同講座（共同研究）ニーズ掘り起こし、マッチング
- 製造・研究・実証拠点集積化の問合せ対応、実証プロジェクト実施支援

研究・実証

- 知の拠点あいちに電池開発評価センターを創設
→ 試作・分析・評価の問合せ対応。必要な設備を整備。
→ 産総研、JFCC、名大等との連携を仲介コーディネート
→ 高校生等への電池製作の場の提供
- 「知の拠点あいち重点研究プロジェクト（重プロ）V期」に「次世代バッテリー分野枠」を設定
→ 知の拠点でスタートアップに研究開発スペースを提供
- あいちシンクロトロン光に専用ビームライン整備
→ 電池研究優先ビームライン（企業、国、県の協力）
- 中規模の安全性試験・充放電試験等の施設整備
→ 知の拠点あいち隣接土地（約7,500㎡）を定期借地等し、民間企業が整備（PPP（官民連携手法）検討）

製造・研究拠点等集積化

- 実証拠点の誘致
→ CDによる実証実施希望者と場所・施設とのマッチング
→ 重プロV期で実証事業公募
- 研究所（分析機関）新增設のための財政的支援
→ 検討中
- サプライチェーンの強化のための参入希望企業向け支援
→ 電池サプライチェーン協議会（BASC）と連携したカレッジの開催
→ 愛知県プロフェッショナル人材戦略拠点と連携した中小企業への人材確保支援
- バッテリーに関する展示会への出展
→ BATTERY JAPAN 二次電池展

※上記は愛知県におけるバッテリー関連の取組を研究会で議論するためのたたき台であり、内容については引き続き検討してまいります。